

あがつま



年間聖句

『兄弟たち。あなたがたは、自由を与えられるために召されたのです。ただ、その自由を肉の働く機会としないで、愛をもって互いに仕えなさい。』

(ガラテヤの信徒への手紙5章13節)

♪ 賛美歌を歌おう⑦

『マラナ・タ』

主の食卓を囲み

讚美歌 21…81番

永らく、カトリック教会ではラテン語によるミサしか認められていませんでしたが、第2ヴァチカン公会議(1962,1966)での典礼改革によって、自国語を用いたミサが認められるようになりました。このことにより、歌が作られるようになり、その流れの中で日本語による典礼聖歌も数多く生み出されました。

大学で作曲を専攻し、白百合女子大学教授、東京カトリック神学院講師、東京純心女子大学特任教授等を歴任しました。

新垣さんは、東京カトリック神学院の教え子たちの叙階に際し、二五年にわたって創作聖歌を贈ってこられ、一九八二年の送る歌として「マラナ・タ」を創作されました。

今やこの歌はカトリック教会だけではなく、『讚美歌21』や『新生讚美歌』、『古今聖歌集』等に採用され、さらには『フィリピンの『パンブー・ヒムナル』にも英訳されるなど、教派を超えて愛唱されている賛美歌です。

新垣真実

